

セキュリティシステムと小売業

小売業者は事業縮小を防止し、業績を向上させるためにセキュリティ技術を利用している。EAS(電子商品監視システム)、デジタルビデオ、POSシステムなど統合したセキュリティシステムで、経理上の利便さも得ることができる。

編集部

バージンメガストア、EASを採用して万引に対応

英国を拠点するバージンメガストアでは、CD、DVD、ビデオ、ゲーム、書籍、デジタル機器、衣類、楽器など18万を超える商品を販売している。これらの商品は高価であるとともに、移動がすぐできるため簡単に盗み取られる。万引犯の手口は巧妙化しており、店舗内における顧客への制限を最小にとどめてながら小売業者を保護することは新たな挑戦である。

バージン社では店舗内での効率を改善するため、システムのアップグレードを行い、年間19億7千万ドルの損失の改善を試みている。スマートEASは、EAS、デジタルビデオ、POSシステムからの情報を統合するもので、バージン社では13店舗で採用している。これは出口で外部と店舗を切り離し、スタッフが警報に対応して管理者と損失予防チームが情報を管理するという解決法を導入した。

何か出来事が発生した時、スマートEASが記録した情報はダウンロードし

てSMSにより送信することができる。このデータには人数計数や各階での顧客行動などのデータを含み、正確な分析で買い物における動向を把握することができる。これに基づいてスタッフ増減の判断を適切に行なうことができる。

顧客の流れを知ることで、バージン社ではマーケティングプロモーション、数々の新商品の成果を評価することが可能になり、これにより必要に応じてリアルタイムによる顧客動向を見ることができ、警報管理報告により、店舗内における警報発生後の対応に要する時間を知ることができ、窃盗が起りやすい時間などの状況を知ることができる。

小売り現場における個別情報により、顧客、スタッフそして店舗財政などに利益をもたらす情報や運営に関する重要な決定を下すための情報を提供してくれる。さらに、CD店やセキュリティ企業は、小売業全般における業務縮小という問題を解決するために、長期的な視点を持って取り組みを行っている。

Hughes and Hughes書店、デジタル防犯カメラを採用したセキュリティシステムにアップグレード

Hughes and Hughes社はアイルランドで急成長する書籍チェーン店である。ここ数年でアイルランド国内に18店舗、そして英国に1店舗を持つ。店舗はハイストリートとショッピングセンターが混在した構成になっている。また英国内空港に10店舗を構え、さらにロンドンヒースロー空港第5ターミナルでの書籍独占販売権を獲得している。

このチェーン店では、簡単にアクセスでき高画質な費用対効果の高い監視システムを探していたが、空港内に10店舗(6店舗はダブリン空港)あるアウトレットでの窃盗や破壊、そして詐欺事件発生の際に明確な証拠となることを期待していたからである。さらに、システムは空港で現在使用中のITネットワークシステム環境と直接統合しなければならなかった。

当該担当のITコンサルティング企業は、チェーン店におけるIT環境の開

発、サポートを行っている。まずシャノン空港に4台を試験的に設置してその後合計21台のカメラを設置した。これは空港のITネットワークを利用して設置してPCベースの管理ソフトによって管理する。この書店ではそれまで防犯カメラの表示作業を外部委託していたが、その月々の費用を完全に削減することができた。

Plus Cityショッピングセンター、デジタル防犯カメラで訪問客への対応を強化

Plus Cityは、オーストリアのリンツにあるモダンで先進的なショッピングセンターで、7万平米もの面積を誇っている。1989年設立で成長と拡大を繰り返し、また、最新化を図って来ている。絶好の立地条件と豪華な施設を備え、オーストリアで近年最も成功した革新的なショッピングセンターと言える。年間計800万人がこの施設の店舗やレジャー施設を訪れている。

同施設の訪問客が快適なショッピングを楽しめるように、Plus City社マネージャーは施設の質と機能性を強化している。彼が客に対して、リラックスしたすばらしい雰囲気を作り出すことをセキュリティ設備に配慮しているのは明白だった。1992年に設置されたアナログ表示システムは実況映像を映し出していたが、操作が非常に複雑だった。

そこで、ショッピングセンターでは90台のデジタルカメラの設置を決定し、Dallmeier社のシステムをエスカレーター付近に設置した。そこには警



■小売り現場での個別情報が、顧客、スタッフそして店舗財政などに利益をもたらす情報や運営に関する重要決定を下すための情報を提供してくれる。

報を設置し、エスカレーターが停止した時には情報を警報管理センターに送信して、トラブルの原因をセンターで確認でき、適切な対応策をとることを可能とした。

エスカレーターを遠隔管理により、エレベーターの再開も管制センターで操作できるようになった。エレベーターを撮影したビデオ画像はCCTVコンソールにより管制室で表示し録画する。そして、ショッピングセンターの訪問客にはスピーカーで注意を促すことが可能となった。すべてのカメラ映像を継続的に録画し、ショッピングセンターが設定した時間まで記録している。

警報を発生させた映像は手動で管理する特別記録センターに転送される。そして、デジタルCCTVが登場したことで、テナントが好んで受け入れるようになった。さらにこのシステムの登場により、問題の発生予防だけでなく顧客やテナントに対して快適さを提供できるようになった。また、セキュリティ担当者や警察などは撮影映像の質

に非常に満足した。

再生や分析のための画像データの提供によりProcess Viewerが大きな役目を果たしている。セキュリティ担当者および警察が特定の映像を拡大し犯人を特定する際に大きく貢献している。これにより窃盗等の事件の解決にかかる時間が短くなった。セキュリティ担当者および警察は、映像の有する価値やシステムの拡大機能を利用し、強化することを検討している。出入口付近、回転ドアなどを監視区域として、事故や侵入を予防することができるようになる。

さらに、CCTVカメラはマルチメディアシステムとの統合が可能である。これによりドームカメラを利用し、天井に設置することで広範囲の表示が可能となり、センター内のLCD映像を表示することになった。そして、本システムは駐車場にまで拡大した。将来的には無線LANによる遠隔操作カメラの導入も検討している。

AS

出展 : Tyco ADT社, Axis社, Dallmeier社